

◆ 平成 27 年度 活 動 報 告 シ ー ト ◆

団体名： さいたま百景選定市民委員会

代表者： 会長 相田武文 事務局長 中津原 努

URL : www.ever-green.ne.jp/100kei

1. 活動が必要とされた状況

- ・「さいたま百景」を選定、書籍『市民が選んださいたま百景』の出版後、23 年度の後半からは、選定された「さいたま百景」を中心にして、市内各地域の風景を探索するイベントを行ってきたが、今年度の荒川周辺ツアーで主要なエリアの探索を完了させたい。
- ・今年度の荒川周辺散策マップを含めた 10 枚の「さいたま百景散策マップ」をまとめ、広く市民に活用してもらいたい。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

- ・今年度事業による巡回ツアーの実績は以下のとおり。
 - 第 10 回：荒川周辺ツアー（その 1） 2015. 8/23（日）
埼玉大学～秋ヶ瀬公園～彩湖～桜環境センター（24 名参加）
 - 第 11 回：荒川周辺ツアー（その 2） 2015. 10/3（月）
治水橋～新川～永田家長屋門～民家カフェ～指扇駅（17 名参加）
- ・第 10 回巡回ツアー実施後、桜環境センターにおいて、さいたまトリエンナーレ関連のトークイベントに参加した。
- ・また、さいたまトリエンナーレのプレイイベントである「さいたまスタディーズ」に委員会として参加し、さいたま市の歴史等の研究と発表を行った。
- ・今年度分の散策マップ「荒川に水と人の関わりをたどる」を発行するとともに、これまでの 10 枚の「百景散策マップ」をまとめた集成版の編集、発行を行った。

3. 活動の成果

- ・今年度の荒川周辺ツアーの実施と散策マップの作成により、10 枚目の「さいたま百景散策マップ」の作成できた。
- ・平成 24 年度依頼作成してきた 10 エリア、10 枚の散策マップをまとめた、集成版を発行することができた。
- ・また、さいたまトリエンナーレのプレイイベント「さいたまスタディーズ」では、これまでの当委員会の活動成果を発表するなどして、多くの市民とさいたま市の特性や課題について、共有することができた。

＜さいたま百景散策マップ 集成版ケース＞



4. 今後に残された課題

- ・24 年度以来行ってきた「さいたま百景散策マップ」の作成に基づき、より多くの市民とさいたま市の風景づくりに関する活動を行っていききたい。
- ・そのため、10 枚のマップを活用した散策イベントを開催するとともに、その総括としてのシンポジウムの開催を目指す。
- ・28 年度に実施される「さいたまトリエンナーレ」にも、市民の立場から積極的に参加していきたい。